



「家族のきずな」エッセイ
表彰式

11月16日、美山コミュニティセンターで、第12回「家族のきずな」エッセイの表彰式が行われました。

市内小学校4～6年生から473点の応募があり、優秀賞11点、入選18点が選ばれました。優秀賞の受賞者は次の通りです。(敬称略)

- 本内満理(高富小④)、平野文都(富岡小⑤)、川島萌々音(伊自良南小⑥)、松久星七(桜尾小④)、西山優衣(富岡小⑤)、吉田ゆい(美山小④)、加運ハヤバハト(伊自良北小⑥)、河合皆(高富小⑤)、鷺見朋哉(高富小④)、見澤明依(高富小⑥)、林綾乃(富岡小⑥)



学校給食へ豚肉を寄贈
感謝状を贈呈



1月27日、高富中学校で、市内全小中学校給食への豚肉寄贈に対する感謝状贈呈式を行いました。

有限会社ミートショップミカドと有限会社ハシエダ養豚は、食を通じて地元への関心を深めてほしいとの思いから、豚肉を寄贈されました。当日は、高富中学校で全校道徳の授業が行われ「命を頂くとはいか」について考えました。また、寄贈された豚肉は、給食で豚丼として提供されました。

食のスペシャリストから
美しさを学ぶ

1月31日、伊自良中学校で、伊自良地区在住の料理人である石井まなみさんを講師に迎え、食から美しさを考える講演会を行いました。

同校2年生は一年を通して「美しさとは」というテーマで学習を行っています。今回は食のスペシャリストである石井シェフからこれまでの経験やそこから得た学び、感じ方などについて話を聞きました。生徒は自分なりの美しさを見つけようと、真剣な表情で話を聞いていました。



JAぎふリオレーナが
大会に向けて意気込みを語る



2月4日、市役所公室で、バレーボールVリーグ女子のJAぎふリオレーナの選手3人が、市で開催されるホーム戦に向け、市長を訪問しました。

同チームは、県内唯一のVリーグ所属バレーボールチームであり、2月15・16日に、市総合体育館で倉敷アブレイズと対戦しました。主将の野毛かえでさんは「バレーボールに興味を持ってもらえるようなプレーをしたい」と意気込みを語りました。

市内保育園に

有機栽培米を提供

2月5日、伊自良保育園に、市内で生産された有機栽培米を提供しました。

この取り組みは、園児や保護者などに環境に配慮した農産物への理解を深めてもらおうと、市と生産者、岐阜農林事務所、JAぎふが連携して実施しています。今回の提供により、昨年からお米を提供している2園と合わせ、3園目となりました。

給食で有機栽培米を食べた園児は「いつも食べているお米よりもちもちしている」と口いっぱいに頬張っていました。



漫才のネタを披露

富岡小学校漫才ワークショップ



2月10日、富岡小学校で、吉本興業株式会社の講師と名古屋よしもと所属の芸人を招き、同校4年生が漫才を披露しました。

1月28日に1回目のワークショップを行い、好きな食べ物や趣味のネタを学級内で発表しました。

2回目となった当日には、前回披露したネタを再度練り直し、学年発表を行いました。児童は「緊張したけど皆が笑ってくれてうれしかった」と話しました。

高校生が山県産食材を

使用した新商品を開発

2月12日、美山地域のCafeこかげで、岐阜城北高校2年生と地元飲食店が協力して開発した新商品の完成披露試食会を開催しました。

当市は魅力的な食のコンテンツ開発を推進するため、同校と連携してさまざまな商品を開発しています。

今回は、株式会社八芳園のシェフをアドバイザーとして派遣し、新商品開発を伴走支援しました。開発した新商品は、3月6日から、実際に店舗で販売されました。



三山ひろしさんプレゼンツ

けん玉と昆虫採集の世界



2月15日、美山コミュニティセンターで、山県市ふるさと大使の三山ひろしさんと三山さんのけん玉の師匠であるけん玉ちばちゃんによる「けん玉教室」と、名和昆虫博物館の名和哲夫館長による「昆虫採集教室」を行いました。

園児や小中学生、その保護者など約50人が参加し、昆虫採集教室では、虫あみを使った採集のコツを学びました。また、けん玉教室では、参加者がけん玉検定10級から6級にチャレンジしました。

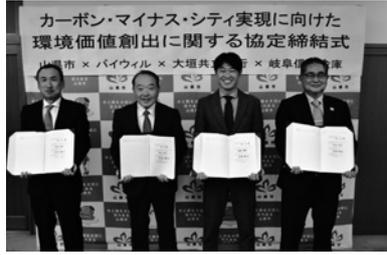


全国中学生人権作文コンテスト
岐阜協議会表彰伝達



1月28日、高富中学校で、令和6年度全国中学生人権作文コンテストの岐阜協議会へ入選された生徒へ、表彰伝達を行いました。コンテストには県内4953作品の応募があり、入選した15作品の中に、長屋咲弥さん(高富中③)と尾関将成さん(高富中②)が選ばれました。当日は、山県市人権擁護委員長の鷺見明俊さんが感謝状を手渡し「素晴らしい思いを周りにも伝えてほしい」と言葉を贈りました。

カーボン・マイナス・シティ実現へ
環境価値創出に関する協定締結



1月27日、株式会社バイウィルと株式会社大垣共立銀行、株式会社岐阜信用金庫との協定締結式を行いました。この協定は、2050年カーボン・マイナス・シティ実現に向け、地域におけるカーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーの実現に寄与することを目的としています。(株)バイウィルの齋藤雅英さんは「再エネ化、省エネ化を加速させ、地域に還元していきたい」と話されました。

文化財を未来へ
白山神社で防災訓練



文化財防火デーの1月26日、東深瀬地区の白山神社境内で、防災訓練が行われました。同神社の拝殿は市内で唯一、国重要文化財に指定されています。訓練当日は、神社氏子総代会と地元自治会、消防団などの地域住民、消防署が参加し、通報訓練や放水訓練が実施されました。地域の宝を守る意識が、より一層高まる機会となりました。



**デザインで地域の魅力を伝える
高富中学校デザイン表彰式**
2月21日、高富中学校で、同校3年生が考案したシールデザインの表彰式を行いました。同校生徒は今年度、プロのデザイナーの指導のもと、山県ばすけっとの魅力伝えるシールのデザイン制作に取り組んできました。この度完成したシールを山県ばすけっとやプロのデザイナーが審査し、計10人が優秀賞に選ばれ、当日は代表者6人が表彰されました。優秀作品は、山県ばすけっと店頭で実際に使用される予定です。

2月26、27日に東京駅近くのKITTE丸の内で、3月1、2日には下北沢で、第3弾、第4弾となる山形県山形市とのコラボイベントを開催しました。イベントでは、両市の特産品の販売や市在住の絵本作家である高島純さんの絵本カバーを使ったワークショップなどを行い、多くの人で賑わいました。訪れた人は「東北のやまがただと思っただけで岐阜にもやまがただがあるんだね」おもしろい取り組みだね」と話されました。



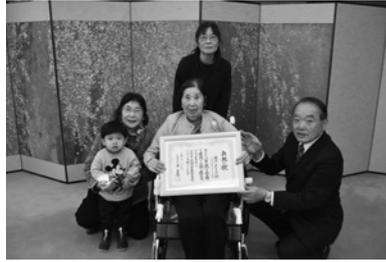
2つのやまがたを
全国に発信

宝くじ助成金で 公民館を建設



令和6年度コミュニティ助成事業を活用し、山本自治会が公民館を建設しました。コミュニティ助成事業とは、一般財団法人自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業です。宝くじの受託事業収入を財源とし、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、活動に必要な施設、設備に助成します。公民館は、山本自治会のコミュニティ活動の拠点として活用されます。

福井まさ子さん 100歳を迎える



1月25日、福井まさ子さんが、100歳の誕生日を迎えられました。福井さんは8人兄弟の長女で、当日はひ孫を含め親族6人と一緒に市長を訪問されました。好きなことは歌謡曲の番組を見ることがや入所施設のレクリエーションに参加することだそうです。長寿の秘訣を聞くと「のんびりと過ごすこと」と話されました。

山県市さくらカンパニー認定企業が 合同説明会開催



2月4日、市とハローワーク岐阜の合同で、山県市さくらカンパニー認定企業合同説明会を開催しました。市では、令和元年度からワーク・ライフ・バランス推進や女性活躍推進に取り組み企業を、山県市さくらカンパニーとして認定しています。当日は、認定を受けている27社・31事業所のうち5社が参加し、各事業者が業務内容や休暇制度などを求職者に説明しました。

— 連載 —

先人から次世代へつなぐ
わがまちの
歴史再発見

歴史再発見

19

八月堂

喚鐘

はちがつどう
かんしょう
県指定重要文化財(美術工芸品)



八月堂 喚鐘▶

市内には先人から受け継がれてきた貴重な歴史資産が多くあります。身近な歴史を再発見し、未来へつないでいきましよう。

■生涯学習課文化財調査室 TEL3290008

葛原にある八月堂には、県重要文化財に指定されている「喚鐘」があります。喚鐘は、昭和53年に県重要文化財に指定されました。

喚鐘とは、お寺の堂内や軒先につる小型の鐘で、講会(仏教の講義など)の開始などの合図のために打ち鳴らすものです。

この喚鐘は小型で、高さは31.8cm、口径は17.9〜18.5cmです。火災にあったとみられる肌荒れはありますが、刻まれた銘文から、この喚鐘は明徳2年(1391年)に八月堂の講衆(講会の参加者)16人が祈りを込めて寄進したものであることが分かります。

室町時代ごろの庶民信仰を知る上で貴重なものとされている喚鐘は、約600年も昔から受け継がれ、祭りで飾られるなど、今もなお、大切に守り続けられています。

※喚鐘は非公開です。